

関電、首相7人に年200万円

72年から18年間 献金

関西電力で政界工作を長年担った内藤千百里・元副社長(91)が朝日新聞の取材に応じ、少なくとも1972年から18年間、在任中の歴代首相7人に「益壽れに十万円ずつ献金してきた」と朝日新聞に証言した。政界全体に配った資金は年間数億円に上ったという。原発政策の推進や電力会社の発展が目的で、「原資はすべて電気料金だった」と語った。多額の電力マネーを政権中枢に流し込んできた歴史を当事者が実名で明らかにした。



ちもり 内藤千百里元副社長が証言

内藤氏が献金したと証言した7人は、田中角栄、三木武夫、福田赳夫、大平正芳、鈴木善幸、中曽根康弘、竹下登の各元首相(中曽根氏以外は故人)。

内藤氏は47年に京大経済学部を卒業し、関電前身の関西配電に入社。62年に若原義重社長(故人)の秘書になり、政財界とのパイプ役である政治担当を約30年間務めた。2013年12月から今年7月にかけて69時間取材に応じ、11年3月の東京電力福島第一原発の事故について「政府の対応はけしからん」「長年築いてきた政・官・電力の関係に問題があった」と指摘したうえ、多額の政治献金を電気料金で賄った仕組みや政官財界と親密な関係を築いた。

内藤氏は「関電には菅原さんが直接、総理大臣や党の実力者に配る資金があった。トップシークレットだった」と証言。首相や自民党有力者らに毎年2回、益壽れのあいさつと称して各200万〜1千万円の現金を運ぶ慣行があったと明かし、授受の様子や政治家の反応を細かく語った。

▼2面▶田中角栄氏「頂いたよ」

政治資金報告書 記載確認できず

内藤氏が献金したと証言した7人の元首相側は取材に対し、「そのような事実はないと思う」「わからない」と答えた。

政治資金規正法は金権入り

関電広報室は「承知していない」と取材に答えた。(藤森かめ、村山治)

政治資金報告書に記載していれば問題ないが、記載の有無は確認できなかった。

99年までは政治資金収支報告書に記載していれば問題ないが、記載の有無は確認できなかった。

超えるべき対象だった東電の事故は、裏方仕事で国家のために役立つと信じてきた彼の価値観を画期的に変えたのだろう。

電力を各地域の独占企業が担い続けているのか。この告白は業界への戒めであり、世論への問いかけだ。

政治資金報告書 記載確認できず

内藤氏が献金したと証言した7人の元首相側は取材に対し、「そのような事実はないと思う」「わからない」と答えた。

政治資金規正法は金権入り

関電広報室は「承知していない」と取材に答えた。(藤森かめ、村山治)

歴史の關係者から話を聞き取る「オーラルヒストリー」第一人者の御厨貴東大客員教授の話 電力を独占供給する巨大公益企業の政界工作を中枢の元役員が明かした衝撃の告白だ。これほど痛烈な自己批判は過去にない。歴史をこの国に記録として残そうとする勇氣ある行為だ。

関電は電気料金を使って

業界への戒め

歴史の關係者から話を聞き取る「オーラルヒストリー」第一人者の御厨貴東大客員教授の話 電力を独占供給する巨大公益企業の政界工作を中枢の元役員が明かした衝撃の告白だ。これほど痛烈な自己批判は過去にない。歴史をこの国に記録として残そうとする勇氣ある行為だ。

関電は電気料金を使って

関西電力の政治献金について明かす内藤千百里氏(2日、大阪市北区、竹花徹朗撮影)

デジタル版に証言動画